

キャラクター名
桜庭理緒

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	高校生	カヴァー	高校生
オプション		年齢	16	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	解放	初期侵食率	34 %
出自	天涯孤独	経験	初恋	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	1	0			4	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
赫き剣	白兵	4r+33	5	+33		攻撃力: +[消費したHP]+8

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
シナリオロイス: 天花寺愛美	P 好意	N 隔意		
DDX 変異種: ブラム=ストーカー	P	N		
PC4 天御門元春	P 好意	N 恥辱		
PC2 烏間九郎	P 庇護	N 不信心		
PC3 碧山明狩	P 親近感	N 不安		
☆パペットマスター	P 執着	N 憤懣		
PC5 須郷隆真	P 好奇心	N 猜疑心		

最大財産P: 6 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
赫き剣	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	[LV×2]以下の任意のHPを消費							
破壊の血	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	赫き剣の攻撃力+[LV×3]、ガード値+5、HP-2							
渴きの主	1	4	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果:	装甲無視 [LV×4]点回復							
鮮血の一撃	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	白兵攻撃ダイスを+[LV+1]、HP-2							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	クリティカル値を-LVする(下限値7)							
ロイヤルブラッド	3	3	メジャー/リア	-	-	-	DDX	
効果:	判定ダイス+5個 シナリオLv回							
始祖の血統	3	4	メジャー	-	-	-	100%	
効果:	判定ダイス+[Lv×2] HP-3							
異世界の因子	1	5	オート	視界	IF外	自動	80%	
効果:	対象のIF外LV1を取得。シナリオ1回							
日常の代行者	★		常時					
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

桜庭理緒は、市内の大鳥高校に通う学生である。しかし、彼は一般的な人間ではない。過去、幼少期に謎の襲撃を受け、眼前で両親を殺害された際にオーヴァードとして覚醒を果たした、《非日常》に足を踏み入れた者である。

理緒は覚醒を果たした力を無我夢中で使い、敵を撤退させることに成功した。天涯孤独となった彼はその後、一時的にUGNへと保護された。そこで一般的な者達よりも強大な力であり、それを認識した彼は自身の力の暴走を恐れ、力を使うことの無い《日常》へと戻ることを望んだ。

桜庭理緒の覚醒したオーヴァードとしての異能。その元となるレネゲイドウィルスは、教育な運命の元で生み出された——いや、遙かな過去より、時代を超えて受け継がれてきたレネゲイドウィルスの祖とも言われる、《特別な血統》である。それは無自覚に他者へと威圧を与える。故に理緒の周りに人は寄り付かなかった。帰ってきた《日常》は、本来のソレではなくなってしまっていたのだ。しかし、そうであっても特別な力を使う機会のない、《平和な日常》である。

桜庭理緒が高校に入學すると、目を奪われ、呼吸を忘れる程の者——《天花寺愛美》に出会った。その容姿、雰囲気は一目惚れしてしまったのだ。そして、彼女とは同じクラスになった。しかし、彼女に好意を持っても今までの経験故に、理緒は他者との壁を作り、クラスメイトなどからは避けられる。そんな中、理緒に平気で声をかける者がいた。それこそ彼女。そして、これこそが本当の意味で理緒にとっての《日常》の始まりだった。

彼が求めるのは《平和》。しかし、それは彼の持つ血が許さない。

レネゲイドの祖。その中でも特に強い力を持った——《王の血統》

それこそが彼の中に巡る、《受け継がれる》といった《変異》の起こった、レネゲイドウィルスなのだ。